

平成23年10月 4日

各 位

まちなか里山公園づくりの会
会長 山元広隆

次回(10月8日)の作業予定について

前 略

あの暑さはどこへ行ったのでしょうか?今日は18度。それでもまだセミやあ鳴いてますが……変な気候ですね。

9月24日の懇親会は盛り上がりましたですね。ご苦労さまでした。

作業も大いにはかどり、竹の茂み越しに青空が望めるくらいになりました。

次回10月8日(雨天なら10月15日)は、引き続き立竹の間引き作業です。

墓所方向の法面にもう1カ所竹垣が必要かもしれません。状態を見ましよう。丸太の椅子を広場に置いたり、道具小屋を造りたいとの声や、「芋煮もいいね」という話も出ました。楽しみながら作業したいと思います。無理をせず、安全第一で作業をします。次回もご協力をお願いいたします。



早 々

記

○ 立竹の間引き伐採と整理

一角を試しに伐採しました。まだ間引きしていません。間引き作業を完了してみます。どの程度の間隔か、1間の長さの棒がありますのでこれを定規にして作業を進めます。伐採した竹は、面倒でも1本1本枝打ちを済ませ集積し、次の立竹伐採にかかります。

立竹を倒すときは必ず笛か大声で他の人に注意喚起してください。

間引き後の状態を確認して、次の区画に進みます。なお、伐採整理しても足場がきれいになっていません。竹枝や雑木、雑草の清掃をして完了となります。熊手や鋏、鋸が必要ですので、用意できる人は持参してください。

○ 新規区画の立竹伐採

(1) 枯竹の伐採

上記作業に目途がついたら、次の区画の立竹伐採にかかります。

歩道の予定幅でピンクのテープを這わせましたが、その境界線内の竹林を整理します。エリア確認のあとまず倒れている枯竹を切り、足場を固め周囲の雑木、散逸している枝や古木を取り除いて足場を確保してから作業にかかります。

(2) 密集している竹を間引く

次に立竹を伐採して適度な間隔に間引く作業にかかります。方法は前述のとおりです。間引き対象の竹は3年以上の古竹とします。

間引き後の状態を確認して、次の区画に進みます。なお、伐採整理しても足場がきれいになっていません。竹枝や雑木、雑草の清掃をして次へ進みます。

前回案内でも述べましたが、相当の面積でこの作業を繰り返し継続させますので、必要箇所では新たな竹垣を組みながら進めることになります。どこに竹垣を組むか先を見ながらみんなで話し合いながら地道に気長に作業を進めましょう。

焦りは禁物です。

今回も竹の割れ、跳ねる竹枝など予期せぬ危険を伴いますので、顔面防護するなど十分気をつけてください。枯竹は固く、跳ねるともろにけがをします。

立竹を倒すときは必ず大声で他の人に注意喚起してください。

○ 危険回避と安全第一、前回同様次の点に留意してください。

- ・ 長袖の作業に耐え得るような上着を着用してください。（作業用の「ツナギ」着用など。）
- ・ 水分補給は各自冷水・お茶などを入れた水筒を必ずご用意ください。
- ・ 頭部防護用の帽子、できればヘルメットを着用してください。
- ・ 足元防護のための長靴や作業靴を履いてください。
- ・ 汗拭き用のタオル、やぶ蚊に刺されないよう蚊取り線香、防虫スプレーなども用意してください。
- ・ 作業のための各自の機材は、忘れないよう目印をつけ、置き場所を決めておいてください。
- ・ 手袋は革製など頑丈なものを着用してください。
- ・ はねる竹枝から顔面、目を守るため、ゴーグルを着用してください。

それでは がんばりましょう !!



↑
このあたりが休息場所に
いいね！

〇〇さんの運搬車 ↓

